



「かながわ 高校生チャレンジボランティア」という言葉には、どんな小さなことでもいから、社会に貢献することにチャレンジしてみようという思いが込められています。まず、自分ができる、ちょっとした活動から始めてみましょう。

10月22日(木)、全県で地域貢献デーを実施しました。

神奈川県各高校で取り組んでいる地域貢献活動の象徴的な日「地域貢献デー」を、今年度は10月22日(木)に実施しました。学校や地域の特色を生かしたさまざまな活動が行われました。主な取組について紹介します。

** 平成21年度地域貢献デーの様子 **



県立希望ヶ丘高校では、近隣の希望ヶ丘小学校の1年生に本の読み聞かせを行いました。松沢知事も参加して読み聞かせを行い、希望ヶ丘高校では生徒とのランチミーティングを行いました。



県立秦野曾屋高校では、地域のボランティア団体「弘法山を綺麗にする会」と協働して、近隣の弘法山遊歩道の美化・清掃活動を行い、同団体の日ごろの活動などについてのお話を伺いました。



県立永谷高校では、保護者や地域の方々と協働して通学路や川沿いの遊歩道の清掃と、花壇へのパンジーの苗の植付けなどを行いました。具志堅教育委員、福田教育委員も参加し、生徒とともに汗を流しました。
(この取組は10月23日に実施)

このほか、海岸や河川敷の清掃、学校で育てた花の地域の方への配布、障害者とのスポーツ交流会、高齢者宅での奉仕活動、地域福祉施設での演奏会なども行われました。

この体験をきっかけにして、高校生みなさんが、いろいろなボランティア活動によりいっそう取り組んでいくことを期待しています。



わが校の地域貢献活動・ボランティア活動 第5回

子どもアウトドア教室で自然とふれあうボランティア

県立相模原総合高校

NPO法人きよかわアウトドアスポーツクラブ主催の子供アウトドア教室「みやがせ宝島探検隊」は今年で4年目になる事業です。このボランティア活動は、県内から集まった小学校5年生から中学生までの子ども達と一緒に生活し、カヌーやリバーレッキングなどの自然体験活動を行いながら、子どもたちが自然や人を思いやる気持ちの大切さに気づき、一人ひとりにとっての宝物を見つけて持ち帰るためのお手伝いをする活動です。



高校生ボランティアは、探検隊に参加する前に、NPO主催の「高校生アウトドアボランティアセミナー」に参加し、救急法やカヌーの基本操作、野外炊事の基本を学び基礎的な知識・技術を習得した上で参加します。

高校生ボランティアとして参加した私は、NPOのスタッフや成人カウンセラーの方々と知り合えただけでなく、他校の生徒とも交流し、新しい友達ができました。そして何より、参加した子どもたちの笑顔にふれることができ、ほんとうによかったと思いました。陸の上から見ていた水辺の自然を、カヌーに乗って水鳥の視線で見た時のすばらしさには、子どもたちと一緒に感動しました。

私はこのボランティア活動をとおして、仲間の大切さ、協力することのすばらしさを改めて知るとともに、私自身も「宝物」を発見することができ、とても良い経験になったと思います。この経験を今後どこかで生かしていきたいです。



(相模原総合高校 07年次 伊藤 智恵)

